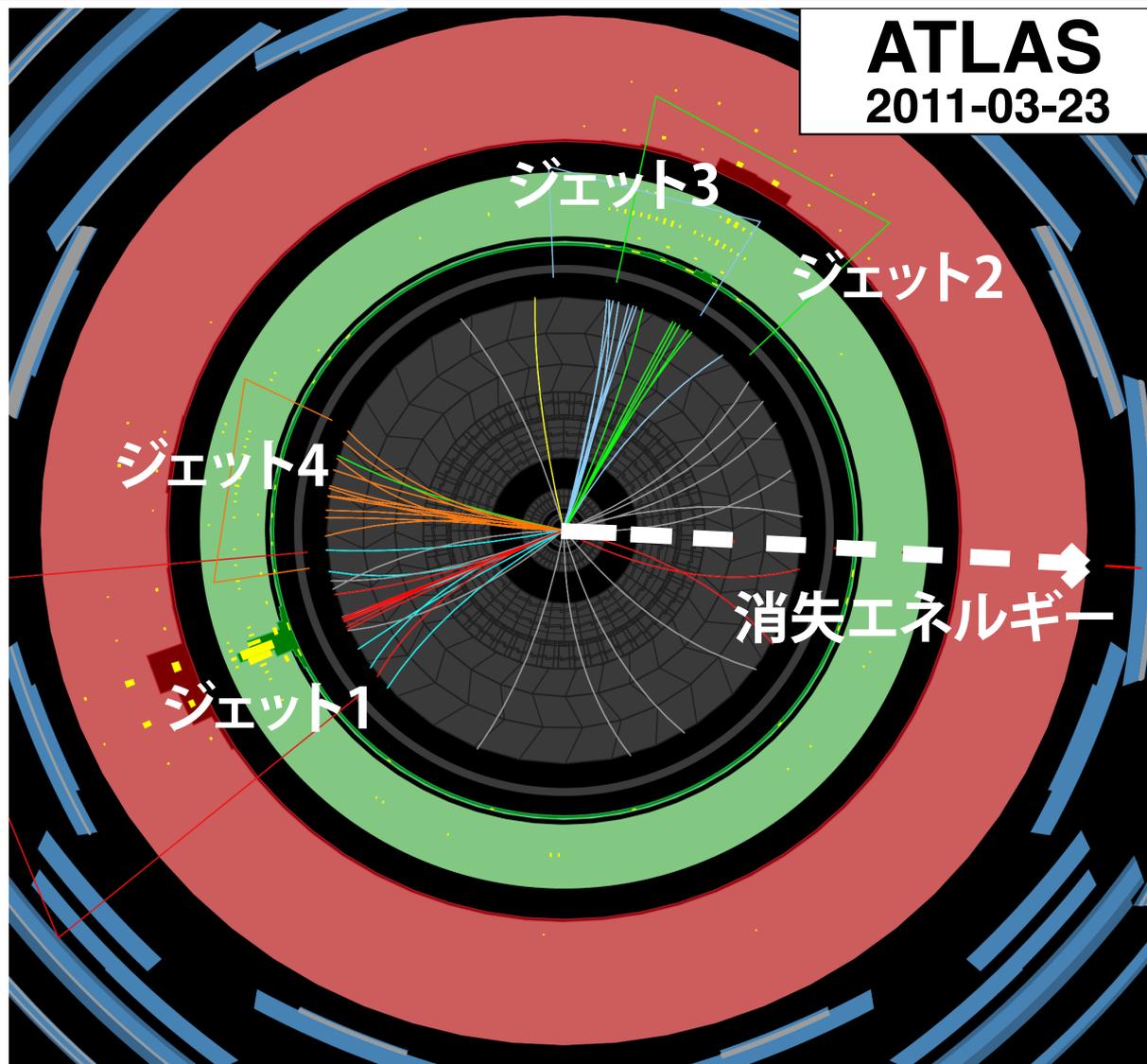


# 先端加速器LHCが切り拓くテラスケールの素粒子物理学 ～真空と時空への新たな挑戦～



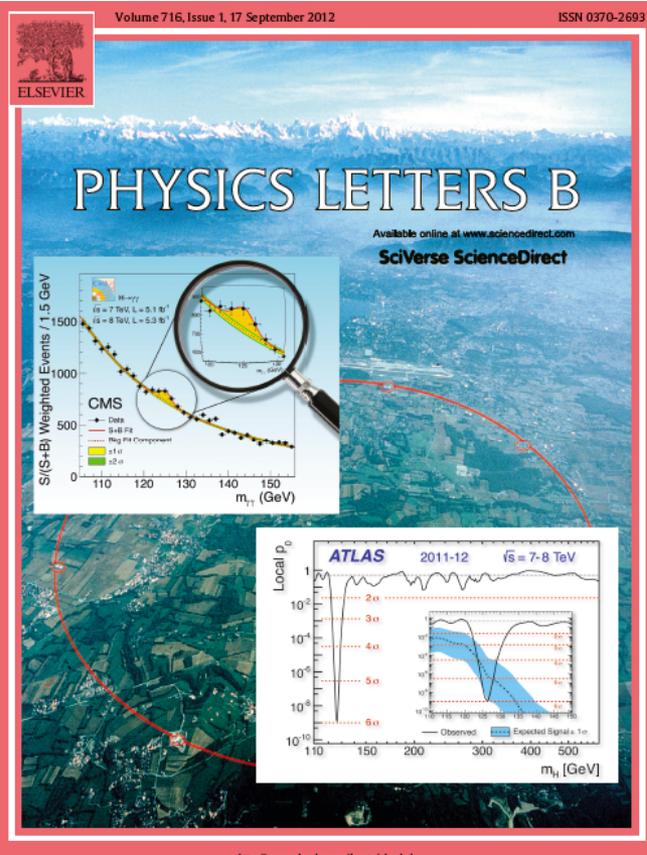
LHCアトラス検出器  
超対称性粒子生成事象  
の候補(2011年3月)

高い運動量ジェット 4本  
大きな消失エネルギー

領域代表者 浅井祥仁  
(東京大学 理学系研究科)

山口昌弘(東北大学)  
戸本誠(名古屋大学)

# 皆様 本当ありがとうございます



まだ道の半ばです

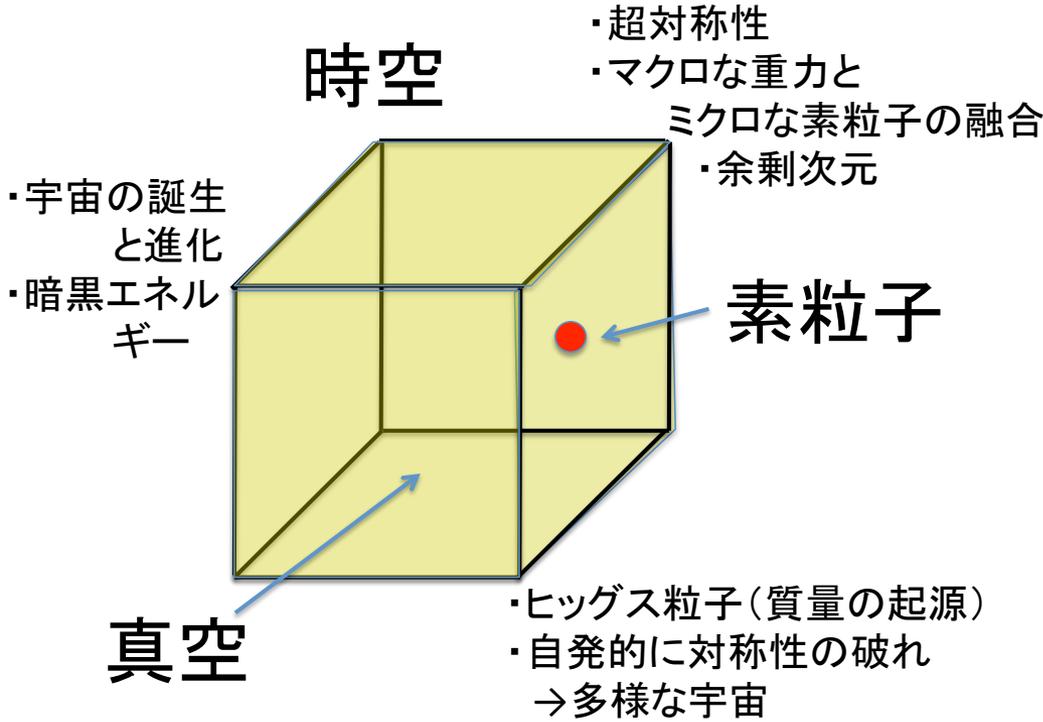
# 領域の目的

（元）端加速器LHCで、**ヒッグス粒子や超対称性粒子の確実な発見**

(2) この確実な成果を核に

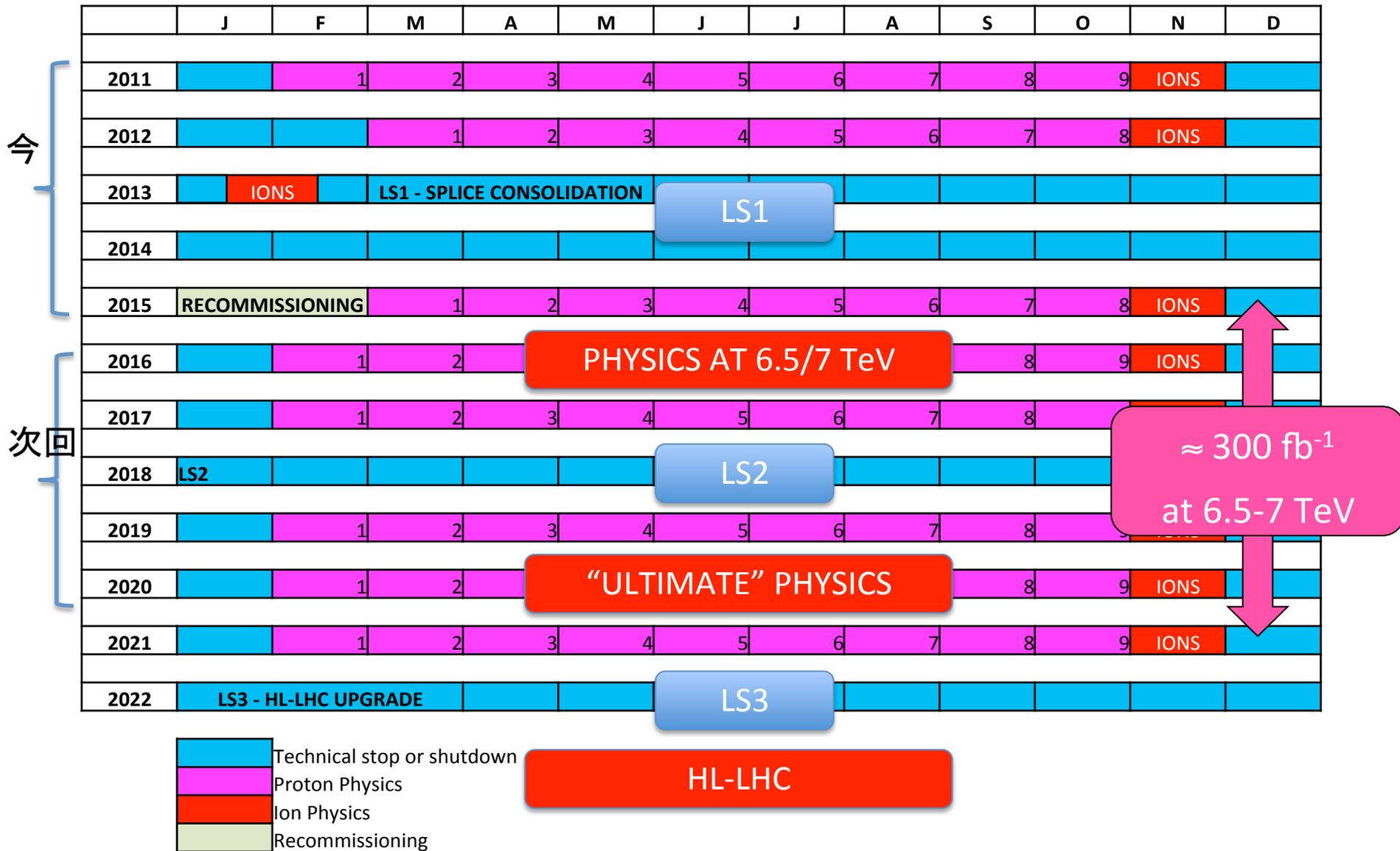
素粒子・時空・真空  
新しい融合領域の  
創成を目指す

素粒子をプローブとして  
時空や真空をさぐる事が可能



本領域の発展により、宇宙、重力、新しい検出器技術の発展に  
大きな波及効果が期待される。また、**新たな自然観の創造**につながる。

# LHCの予定



# これからの重要課題

- 2015早期に new Physicsをつかむ  
確実な発見にむけて準備（次のためにも）
- LS2,3はすぐ、アップグレードの準備  
いまの延長で行っている。  
日本としてvisibilityをだせる様に マネージ
- まだ連携がうまく行っていない。  
実験の成果と理論の発展が、コヒーレント  
に進んでいない。

この3つを主目的に、今回の研究会を開きたく思っております。